

V 健やかな「都」をつくる 17 福祉の充実

(87) 重症心身障害児(者)の居場所の確保

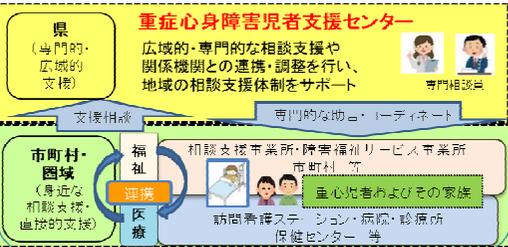
R3予算案 23,004千円

これまでは

重症心身障害児(者)の居場所(※)は、本人と家族にとって身近な地域にあることが必要とされるので、新たな設置とその場所の検討を進めてきました。(※)日中活動の場およびレスパイトのための医療型短期入所等

県中部・東部・南部には少ない、または無いのが現状であるため、居場所づくりについて検討を進めてきました。

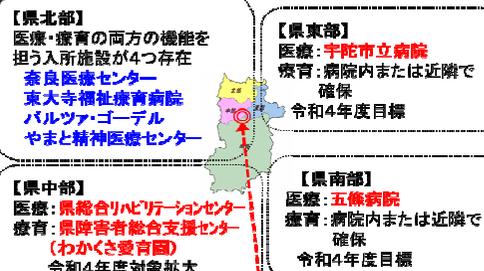
県全体の重症心身障害児(者)支援の中核となる機能が必要なため、県障害者総合支援センター内に「重症心身障害児者支援センター」を令和3年1月に設置しました。



もっと良くするために

県内全域で、身近な地域において生涯にわたり支援を受けられる体制にします。医療機能(病院)と療育機能の最適な連携を図ります。

拠点の整備方針



【県全体の中核】

奈良県重症心身障害児者支援センター

○(新) 中部・南部・東部地域における居場所づくりの推進

○重症心身障害児者支援センターの運営

令和3年度予算案 23百万円

1 (新) 中部・南部・東部地域における居場所づくりの推進 (3,160千円)

- ・医療型短期入所事業を開始するための関係機関との調整
- ・居場所機能を確保するための運営主体の発掘・調整



2 県全体の重心児(者)支援の拠点としての重症心身障害児者支援センターの運営(12,495千円)

- ・重症心身障害児(者)の専門相談
専門相談員2名を配置し、広域的・専門的相談支援等を実施
- ・保健、医療、福祉、教育等の各分野の関係機関のネットワークを強化し、連携して課題と対応策について検討
- ・医療と福祉の両面からサービスを総合調整する人材を育成する研修を実施



3 中南和地域のレスパイト病床確保(5,669千円)

4 県内児童が入所する県外施設療育加算金(1,680千円)

〈問い合わせ先〉

福祉医療部 障害福祉課 畑澤主幹(内線2839)

V 健やかな「都」をつくる 17 福祉の充実 (88) 出所者の更生・就労支援

これまでは

令和2年4月に「奈良県更生支援の推進に関する条例」を施行しました。

- 【目的】
- ・国の司法行政と地域の福祉を繋ぐ
 - ・就労の場づくりを行う等により社会復帰を支援
 - ・誰もが地域の一員として包摂される社会の実現

- 【手法】
- 更生支援に関する施策を一体的かつ効果的に実現するため、**法人を設立**して、次に掲げる事業を実施
- ・罪に問われた者等を**雇用**、**就労の場を提供**
 - ・**住居を貸与**
 - ・**職業訓練**、**社会的な教育**の実施

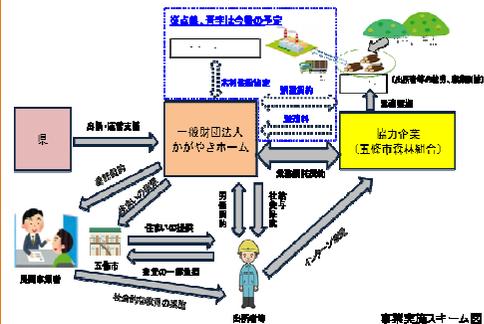
令和2年7月、条例に基づき「一般財団法人かがやきホーム」を設立、9月に2名雇用しました。

- ・五條市森林組合での週4日の林業研修
- ・法務教官等の専門家による週1日の社会的な教育
- ・五條市内に住居を確保
- ・財団職員によるきめ細かな相談体制の構築

もっと良くするために

一般財団法人かがやきホームにおいて、**出所者を雇用**、**社会的な教育**や**林業研修**を実施し、社会復帰に向けた具体的な支援を進めていきます。

○財団が行う出所者の就労研修・社会的な教育への支援等



- ・令和2年12月には**雇用した2名の誕生日会**を地元の方々に開催していただきました。
- ・令和3年度中に**更に2名を財団で雇用**します。

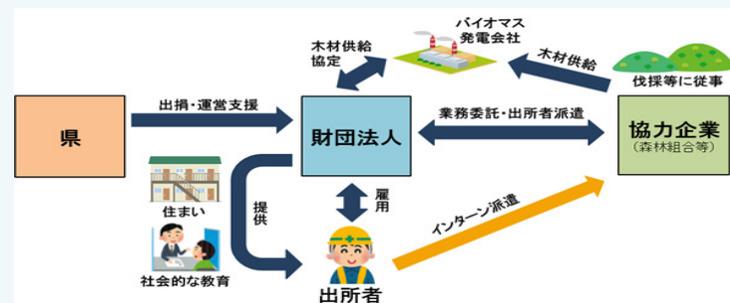
令和3年度予算案 67百万円

R3予算案 67,459千円

① 一般財団法人かがやきホームの運営支援(41,976千円)

○財団の主な取組

- ・雇用した出所者等を五條市森林組合に派遣し、**林業研修を通して就労の場を提供**
- ・雇用した出所者等に**住まいを提供**し、相談員による**寄り添い型生活支援**を実施
- ・雇用した出所者等各人のニーズに合わせた**社会復帰に必要な教育プログラムの実施** など



○奈良県更生支援のあり方検討会を開催し、いただいた意見を財団の運営に反映

② 地域生活定着支援センターによる福祉的な支援を必要とする刑務所等出所者への支援 (20,900千円)

③ 保護観察対象者の県直接雇用やセミナー開催等(4,583千円)

○保護観察対象者の県による直接雇用

保護観察処分に付された者等を県臨時職員として雇用し、雇用期間中に就職支援等(社会技能訓練、インターンシップ等)を実施

○新たに出所者の雇用を考える協力雇用主の不安解消、ノウハウ習得等を目的としたセミナーの開催

○出所者が業務上必要とする資格・免許取得経費の補助

<問い合わせ先>

- ①②福祉医療部 地域福祉課 大隣参事(内線2813)
- ③産業・観光・雇用振興部 外国人・人材活用推進室 松本主幹(内線3572)

V 健やかな「都」をつくる 18 だれでもいつでもどこでもスポーツできる環境づくり (89) スポーツ施設の整備・充実

これまででは

奈良県での2巡目国体(国民スポーツ大会)開催について招致意向を表明(令和2年2月)。令和13年の開催が内々定。
国民スポーツ大会開催に向けて、主会場等に必要な施設の整備について、検討を進めてきました。

国民スポーツ大会主会場に必要な施設

- ・第1種陸上競技場
400mメイントラック、サブトラック、投てき練習場
- ・アリーナ
メインアリーナ及びサブアリーナ・武道場等併設の総合体育館



陸上競技場
(R1茨城国体総合開会式)



アリーナ

もっと良くするために

令和13年の国民スポーツ大会の主会場になるとともに、子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、アスリートから健康志向の人々まで**多世代・多様な人々が、日常的に集い、運動・スポーツ、健康増進、地域の経済活性化につながるスポーツ施設の整備を推進します。**

- ・スポーツ施設等の整備に向け、橿原市及び磯城郡3町(川西町、三宅町、田原本町)から要望を受け、協議を進めています。
- ・まちづくりの中核となる多機能・複合型のスポーツ施設、日常的に利用される本県にふさわしい規模の施設の検討等を進め、基本計画をとりまとめます。



ナイトラン(夜間無料開放)で健康づくり



多世代が集う運動・スポーツの場

令和3年度予算案 31百万円

R3予算案 30,900千円

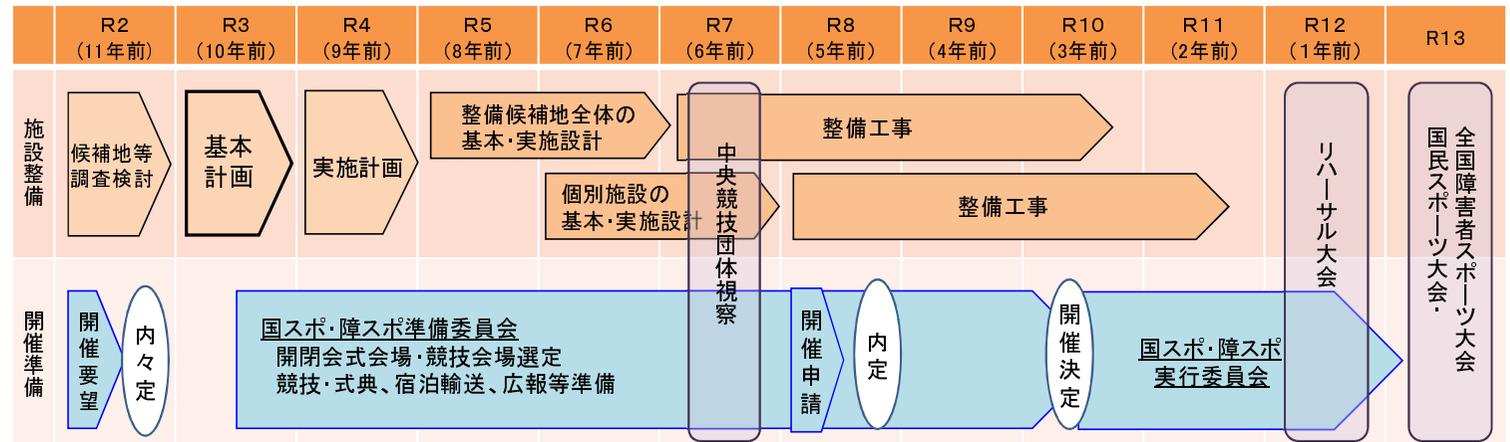
令和13年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の主会場になるとともに、子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、アスリートから健康志向の人々まで多世代・多様な人々が、日常的に集い、運動・スポーツ、健康増進、地域の経済活性化につながるスポーツ施設の整備を推進

【スポーツ施設の整備基本計画の策定】

<検討事項>

整備候補地の絞り込み、まちづくりの中核となる多機能・複合型スポーツ施設、本県にふさわしい規模、施設の配置・仕様、交通アクセス、工程、整備主体・手法、民間活用、財政計画 等

【スケジュール】



※令和13年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催準備を行うため、文化・教育・くらし創造部に「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会準備室」を設置

<問い合わせ先>

文化・教育・くらし創造部 スポーツ振興課 田仲課長補佐(内線5317)

V 健やかな「都」をつくる 18 だれでもいつでもどこでもスポーツできる環境づくり

(90) スイムピア奈良(県営プール)の施設充実、まほろば健康パークの機能強化

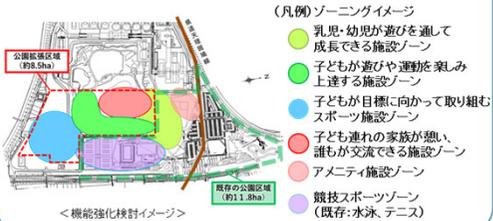
これまでは

国際大会や全国大会等の招致も視野に入れ、「スイムピア奈良」50m屋外プールの観客席増設や屋根等の整備を進めています。令和3年夏のオリンピック事前合宿等の利用を予定しています。



屋根及び観客席増設工事 施工状況 (R2.11.19)

まほろば健康パークに近接して約8.5haのオープンスペースがあります。それを活用した公園機能強化の検討をしています。



もっと良くするために

まほろば健康パークの拡張区域の機能強化について、令和3年度に基本計画を策定します。基本コンセプトは「子どもが憩い楽しみ、遊びや運動を通して成長する公園」としています。(17百万円)



民間活力導入検討等を行い、健康増進施設、競技施設、管理等施設及び公園機能の充実を目指します。(617百万円)

令和3年度予算案 634百万円

R3予算案 634,058千円

1 「スイムピア奈良」50m屋外プールの観客席増設や屋根の整備等 (440,090千円)

○国際大会等が開催可能な競技プールとして膜屋根・観客席を整備(令和3年6月竣工予定)



<完成イメージ>

2 まほろば健康パークの拡大区域の機能強化について、令和3年度に基本計画を策定 (17,000千円)

○「子どもが憩い楽しみ、遊びや運動を通して成長する公園」を目指したまほろば健康パークの機能強化を検討

機能強化のポイント

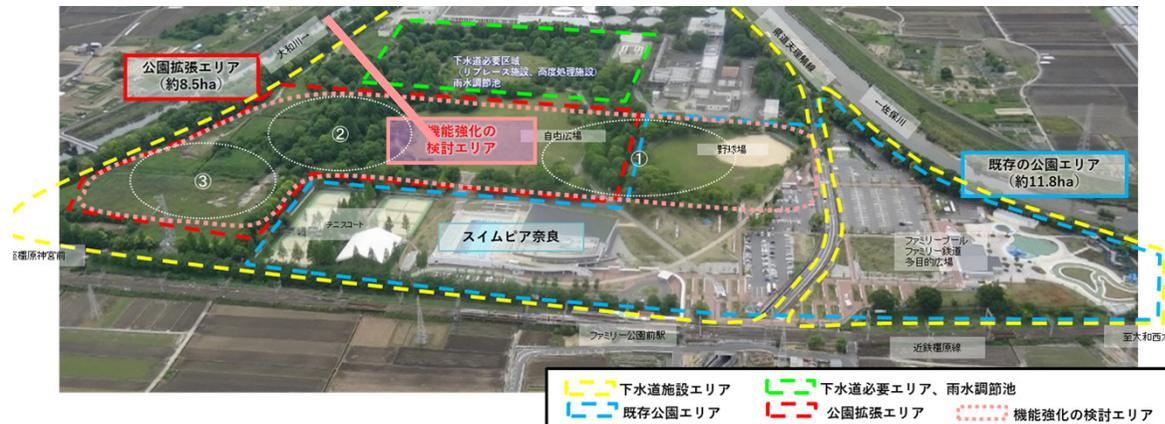
①乳児・幼児が遊びを通して成長できる施設



②子どもが遊びや運動を楽しみ上達する施設



③子どもが目標に向かって取り組むスポーツ施設



3 PFI手法により、健康増進施設、競技施設、管理等施設及び公園機能を一体的に運営 (176,968千円)

○まほろば健康パークの管理運営(PFI事業期間:平成23年10月12日~令和11年3月31日)

○スイムピア奈良を利用する障害者の利用料金の減免

<問い合わせ先>

地域デザイン推進局 公園緑地課 政木主幹(内線4307)

V 健やかな「都」をつくる 18 だれでもいつでもどこでもスポーツできる環境づくり

(91) スポーツ振興ビジョン策定

これまでは

いつでもどこでも誰でもスポーツを楽しめる環境整備を目指してきました。

- 現行の「スポーツ推進計画」は令和4年度までですが、その先を見据えたビジョンの策定が必要です。
- 子どもから高齢者まで、障害のある人もない人もスポーツを楽しめる環境づくりが必要です。
- 自然環境に恵まれた奈良県で暮らしの身近なところでの運動は健康増進の要の一つです。
- イベント開催を通じたスポーツ振興を図ってきています。



2019奈良マラソン

総合型地域スポーツクラブの活動
(ノルディックウォークイベントの開催)

もっと良くするために

本県のスポーツ振興施策を体系的に行うため、中長期的な目標を含む**ビジョン**を令和3年度中に策定します。

<ビジョンの考え方(案)>

- ライフステージやライフスタイルに応じて、いつでも、どこでも、誰でも生涯にわたってスポーツを楽しんでいただける**機会づくり**、**施設の整備**を行います。(環境整備と地域の活性化)
- 新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、**健康維持のための運動・スポーツに取り組む機会**を創出します。(健康づくり)
- 総合型地域スポーツクラブの育成・活性化など**地域の団体や指導者等の人材育成**に取り組みます。(人づくり)

令和3年度予算案 1,189百万円 [債務負担行為59百万円]

R3予算案 1,189,293千円 [債務負担行為 58,850千円]

スポーツを楽しむための機会づくりや人材育成、施設整備等を推進

◆ 奈良マラソンなどスポーツイベントの継続・拡充 (91,406千円)

- ・奈良マラソン・リレーマラソン大会・サイクルスポーツイベントなどの開催支援
- ・奥大和の特色を活かしたトレイルランニングなどスポーツイベントの開催

◆ 大規模スポーツ大会の開催 (137,150千円、R4債務負担行為 8,850千円)

- ・東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレーやフェスティバルの開催とキャンプ受け入れによるスポーツを通じた国際交流
- ・R4年5月のワールドマスターズゲームズ2021関西の開催支援
- ・R13年の「第85回国民スポーツ大会・第30回全国障害者スポーツ大会」の開催に向けた準備の推進

◆ 総合型地域スポーツクラブの育成強化 (3,954千円)

- ・クラブアドバイザーによるクラブへの巡回指導等

◆ ライフステージ・ライフスタイルに応じた運動機会の拡大 (2,579千円)

- ・**新** 休日の中学校部活動の地域移行に向けた実践研究の実施

◆ スポーツ施設の環境整備 (108,176千円)

- ・県立橿原公苑の施設整備
- ・**新** 陸上競技場の整備と日本陸連公認検定の受検、ジェイテクトアリーナ奈良・佐藤薬品スタジアムの整備等)

◆ 自転車の周遊環境整備 (211,970千円、R4債務負担行為 50,000千円)

- ・自転車利用ネットワークの構築(世界遺産周遊サイクルルート等の整備)
- ・自転車利用環境の整備(活用推進のための調査等を実施)

◆ スイμπピア奈良(県営プール)の施設充実・まほろば健康パークの機能強化 (634,058千円)

- ・スイμπピア奈良屋外プール観客席増設及び膜屋根の整備(R3年6月竣工予定)
- ・「子どもが憩い楽しみ、遊びや運動を通して成長する公園」を目指したまほろば健康パークの機能強化の検討
- ・PFI手法によるまほろば健康パークの管理運営



奈良マラソン



サイクリングコースPR動画

<問い合わせ先>

文化・教育・くらし創造部 スポーツ振興課 椋本課長補佐(内線5271)